

	土地区画整理事業	都市公園事業	街路事業
事業名	千葉都市計画事業蘇我臨海土地区画整理事業	千葉都市計画公園事業6・5・2号千葉市総合スポーツ公園	千葉都市計画道路事業3・3・125川崎町南北線
事業主体	UR都市機構	UR都市機構	UR都市機構
面積等	約38.5ha	約46.0ha	幅員28m、延長1,010m
事業期間	平成14(2002)～23(2011)年度(清算期間5年を含む)	平成14(2002)～令和3(2021)年度	平成15(2003)～17(2005)年度 平成13(2001)～19(2007)年度
事業内容	蘇我副都心の拠点整備の先導的なエリアとして、工場跡地を活力と賑わいのある商業・業務等への土地利用転換の実現を目指し、都市基盤施設の整備を図り、良好な市街地を形成する。	市民の健康づくりとスポーツ振興に寄与し、災害時には広域的な防災拠点として機能する運動公園として整備する。	千葉市蘇我スポーツ公園の中核施設となる市民球技場として整備する。
平成8(1996)年5月	千葉市が、「蘇我臨海部開発整備基本構想」を公表		
平成11(1999)年8月	建設大臣が、「千葉市臨海部地域(1.040ha)」を都市・居住環境整備重点地域に指定		
平成12(2000)年3月	千葉市が、千葉市新総合ビジョンを策定し、蘇我副都心の育成・整備を位置付け		
6月	建設省・千葉市が、「千葉市臨海部地域」都市・居住環境整備基本計画を公表		
11月	千葉市が、「蘇我特定地区(約227ha)」を指定		
平成13(2001)年10月	千葉市が、「蘇我特定地区」整備計画を公表		
平成14(2002)年1月	千葉市が、都市基盤整備公園に事業要請(土地区画整理事業・防災公園街区整備事業)		
2月	都市計画決定告示(土地区画整理事業・街路事業・公園事業)		
3月	千葉市が、都市基盤整備公園施行に同意(街路事業・公園事業)		
		千葉市と公団で、「千葉市総合スポーツ公園整備事業に関する協定書」締結	都市計画事業(街路事業)の承認(都市計画決定区画の一部)
10月	都市再生特別措置法に基づき「千葉蘇我臨海地域(約110ha)」が都市再生緊急整備地域の二次指定を受ける		
12月	都市計画変更決定告示(土地区画整理)		
平成15(2003)年1月	事業計画及び施行規程の認可		
2月	都市公園事業の事業承認(約21.9ha)		
5月	千葉市が、「蘇我エコロジーパーク構想」を公表		
6月		千葉市蘇我球技場の事業認可	
7月	都市再生緊急整備地域の区域変更(港湾区域の拡大:約110ha→約116ha) 第1回仮換地指定		
平成16(2004)年2月	第1回使用収益開始		
平成17(2005)年3月	千葉市が、「JR蘇我駅周辺地区」整備計画を公表		
4月	道路供用開始(一部) まちびらき(大型複合商業施設「ハーバースティ蘇我」開業)		
10月		千葉市蘇我スポーツ公園第1次開園(千葉市蘇我球技場周辺:約7.1ha供用開始)	球技場(フクダ電子アリーナ)供用開始
平成18(2006)年7月			街路事業計画変更承認
11月	変更事業計画及び変更施行規程の認可		
平成19(2007)年2月		都市公園事業の変更承認(期間延伸、区域拡大)	
3月	換地処分公告		
平成20(2008)年2月			街路事業の完了公告、供用開始
4月	多目的広場(フクダ電子スクエア)、第1駐車場供用開始		
平成21(2009)年4月	遊具広場、第2駐車場供用開始		
平成22(2010)年2月	都市公園事業の変更承認(期間延伸)		
平成23(2011)年4月	庭球場(フクダ電子ヒルスコート)供用開始		
平成24(2012)年3月	千葉市と機構で、「千葉市総合スポーツ公園整備事業に関する協定の変更協定書」締結 都市公園事業の変更承認(期間延伸、区域拡大:約46ha)		
7月	第3駐車場供用開始		
平成26(2014)年4月	第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)供用開始		
平成27(2015)年4月	第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)供用開始(2面)		
平成29(2017)年2月	都市公園事業の変更承認(期間延伸)		
4月	第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)供用開始(4面)		
8月	円形野球場(フクダ電子スタジアム)供用開始		
令和3(2021)年3月	千葉市と機構で、「千葉市総合スポーツ公園整備事業に関する協定の変更協定書」締結		
9月	第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)供用開始		
令和4(2022)年3月	都市公園事業の工事完了公告		
4月	スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)、第4駐車場、バックヤード供用開始		



2022  
(令和4年)



# 千葉市蘇我スポーツ公園

CHIBA CITY SOGA SPORTS PARK

千葉都市計画公園事業6・5・2号 千葉市総合スポーツ公園



平時は、スポーツ振興の拠点



災害時は、広域防災拠点

千葉市  
都市局 公園緑地部  
〒260-8722 千葉県千葉市中央区千葉港1-1  
TEL:043-245-5781

独立行政法人 都市再生機構  
東日本都市再生本部  
〒163-1313 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー 13階  
TEL:03-5323-0625

2022.3

印刷用の紙にリサイクルできます





# 「蘇我特定地区」のまちづくり

## 蘇我臨海部の位置付け

千葉市蘇我臨海部は、東京都心から東方約30km、千葉市の中心部から南方約3.0kmに位置しています。昭和20(1945)~30(1955)年代に製鉄所が立地し、「鉄のまち」として発展してきましたが、機能更新に伴い、製鉄所が沖合埋立て地区への移転を行ったことで、大規模な工場跡地が発生し、その有効活用が課題となりました。

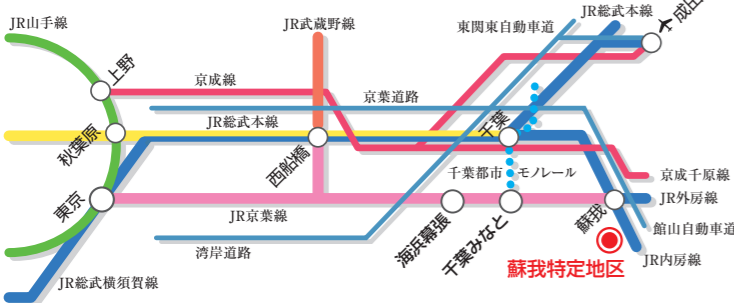
## 蘇我臨海部のまちづくりの推進

これらの工場跡地を有効活用し、新たな都市への再生を図るため、千葉市は、平成12(2000)年11月に「蘇我特定地区(約227ha)」を指定し、平成13(2001)年10月に「蘇我特定地区」整備計画を策定しました。その後、千葉都心、幕張新都心に次ぐ蘇我副都心として、商業・業務施設等の集積、新産業の育成を図る場として、「蘇我特定地区」のまちづくりを進めてきました。

### 蘇我特定地区の位置と道路網



### 鉄道アクセス



## 蘇我特定地区とは

### 経緯

- 平成11(1999)年
  - 8月、建設大臣(現、国土交通大臣)が、「千葉市臨海部地域(約1,040ha)」を都市・居住環境整備重点地域に指定
- 平成12(2000)年
  - 6月、建設省(現、国土交通省)・千葉市共同で、「千葉市臨海部地域」都市・居住環境整備基本計画を公表
  - 11月、千葉市が、「千葉市臨海部地域(1,040ha)」のうち、早期に都市再生を促すトリガーとなる地区として「蘇我特定地区(約227ha)」を指定
- 平成13(2001)年
  - 10月、千葉市が、「蘇我特定地区」整備計画を公表
- 平成14(2002)年
  - 10月、都市再生の拠点として緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、「蘇我特定地区(約227ha)」のうち、「千葉蘇我臨海地域(約110ha)」が都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域の指定を受ける。
- 平成15(2003)年
  - 7月、都市再生緊急整備地域の区域変更(港湾区域の拡大：約110ha→約116ha)

### まちづくりの目標

「蘇我特定地区」整備計画では、次の4つの目標が設定されています。

- 市街地と工場用地を一体的に整備し、副都心にふさわしい都市拠点を形成します。
- エコロジーやリサイクル社会の実現に向けた新しい産業の集積を進めます。
- 市民が活動し、利用できる水辺空間や環境共生空間及び市民生活の安全確保に資する防災空間を創出します。
- これらの実現と低未利用地の積極的な利活用を促すために道路や公園などの基盤施設を整備します。

### 土地利用

- ・まちの賑わいを創り出す【商業、業務、居住系土地利用】
- ・資源循環型社会を創り出す【リサイクル系土地利用】
- ・新しい産業を創り出す【研究開発、生産・物流系土地利用】
- ・市民の憩いの場を創り出す【スポーツ・レクリエーション系土地利用、親水緑地】
- ・長期的には、大水深の活用【港湾関連土地利用】

### 基盤施設整備

- ・円滑な広域交通に寄与する道路整備等
- ・地区内のネットワークを形成する道路整備
- ・スポーツなどが楽しめ、防災拠点機能も併せ持つ公園整備
- ・市民が海辺で楽しめる親水緑地整備
- ・安全な市街地形成に寄与する高潮対策

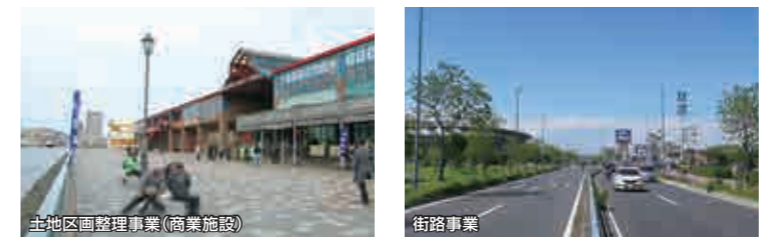
# 防災公園街区整備事業の推進

## 蘇我特定地区における防災公園街区整備事業

防災公園街区整備事業は、都市の防災機能の向上を目的として、防災公園整備と市街地整備を一体的に推進する事業で、地方公共団体からの要請に基づいてUR都市機構が施行し令和4年3月に事業完了しました。

蘇我特定地区においては、防災公園整備は蘇我スポーツ公園(約46.0ha)、市街地整備は土地区画整理事業(約38.5ha)と街路事業(1,010m)で構成されています。千葉市からの要請を受け、UR都市機構はこれらの施行者として事業を進めてきました。当地区は、防災公園街区整備事業の中で最大級の規模となります。

街路事業は平成19(2007)年度、土地区画整理事業は平成23(2011)年度(清算期間5年を含む)に完了し、防災公園街区整備事業は令和3(2021)年度に完了しました。また、これらの事業のほか、UR都市機構は千葉市蘇我球技場の工事を受託し、平成17(2005)年度に完了しました。



## 蘇我スポーツ公園の位置付け

蘇我スポーツ公園は、平時は千葉市におけるスポーツ振興の拠点、多様化するレクリエーション拠点となります。災害時については、『千葉市地域防災計画』(令和3(2021)年8月修正)において、大規模災害時における千葉市の「広域防災拠点」として位置付けられ、千葉市蘇我球技場が津波避難ビルとして指定されているなど、重要な施設となっています。



土地区画整理事業	
千葉都市計画事業 蘇我臨海土地区画整理事業	
所在地	千葉市中央区川崎町、寒川町二丁目及び寒川町三丁目の各一部
施行面積	約38.5ha
事業期間	平成14(2002)年度～平成23(2011)年度(清算期間5年を含む)
街路事業	
千葉都市計画事業 3・3・125川崎町南北線	
幅員等	幅員28m、延長1,010m
事業期間	平成13(2001)年度～平成19(2007)年度
都市公園事業	
千葉都市計画事業 6・5・2千葉市総合スポーツ公園	
所在地	千葉市中央区川崎町
面積	約46.0ha
事業期間	平成14(2002)年度～令和3(2021)年度
千葉市蘇我球技場(サッカー場)工事	
座席数	18,500
事業期間	平成15(2003)年度～平成17(2005)年度

## 公園の活性化

『千葉市新基本計画』(平成24(2012)年3月)において、公園の維持管理の向上や利活用の促進を図るため、市民や企業などとの協働による新たな公園の管理・運営手法としてパークマネジメントの推進や、緑と水辺の保全や多様なレクリエーション活動への対応などを図るため、大規模な公園の整備を進めることが明記されています。

千葉市では、新しい都市型音楽イベントを蘇我スポーツ公園に誘致する等、多様なニーズに応えられるよう取り組んでいます。UR都市機構も、令和3(2021)年度の事業完了にいたるまで着実に公園整備を進めつつ、千葉市の取組みを支援しました。





千葉市のスポーツ振興拠点、市民のレクリエーション需要に対応

# 千葉市 蘇我スポーツ公園

## 整備概要

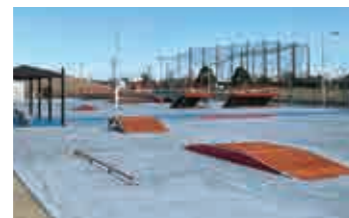
- (1)事業名 千葉都市計画公園事業6・5・2号 千葉市総合スポーツ公園
- (2)面積 約46ha
- (3)事業期間 平成14(2002)年度～令和3(2021)年度
- (4)施行者 独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)による直接施行  
(防災公園街区整備事業による防災公園の整備と合わせ、土地区画  
整理事業並びに街路事業により、周辺市街地を一體的に整備  
※球技場(建物)は千葉市による都市公園事業(UR都市機構が受託)

## (5)計画施設

- 球技場(フクダ電子アリーナ) 球技場、ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアム
- 多目的広場(フクダ電子スクエア) 人工芝の多目的広場(サッカー、フットサル、ラグビー等に対応)
- 庭球場(フクダ電子ヒルスコート) テニスコート(コート数は20面)
- 第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド) サッカー、ラグビー等に対応
- 第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド) 少年軟式野球、ソフトボール等に対応
- 円形野球場(フクダ電子スタジアム) 円形野球場(一般軟式野球、少年野球(高学年)、リトルリーグ等に対応)
- みどりの丘 芝生広場
- 第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク) パークゴルフ、ターゲット・バードゴルフ、グラウンドゴルフに対応
- スケートパーク(フクダ電子ボードエリア) スケートボード、インラインスケート、BMXに対応
- バックヤード
- 遊具広場
- 第1～第4駐車場



みどりの丘



スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)

## ジェフユナイテッド市原・千葉

球技場(フクダ電子アリーナ)は、ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムです。ジェフユナイテッド市原・千葉は、ホームタウンとともに歩むクラブを目指し、地域の方々がスタジアムに気軽に訪れ、楽しむことができるように地域貢献にも力を入れています。



©JEFUNITED



球技場(フクダ電子アリーナ) 2007年グッドデザイン賞受賞



多目的広場(フクダ電子スクエア)



庭球場(フクダ電子ヒルスコート)



円形野球場(フクダ電子スタジアム)



第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)



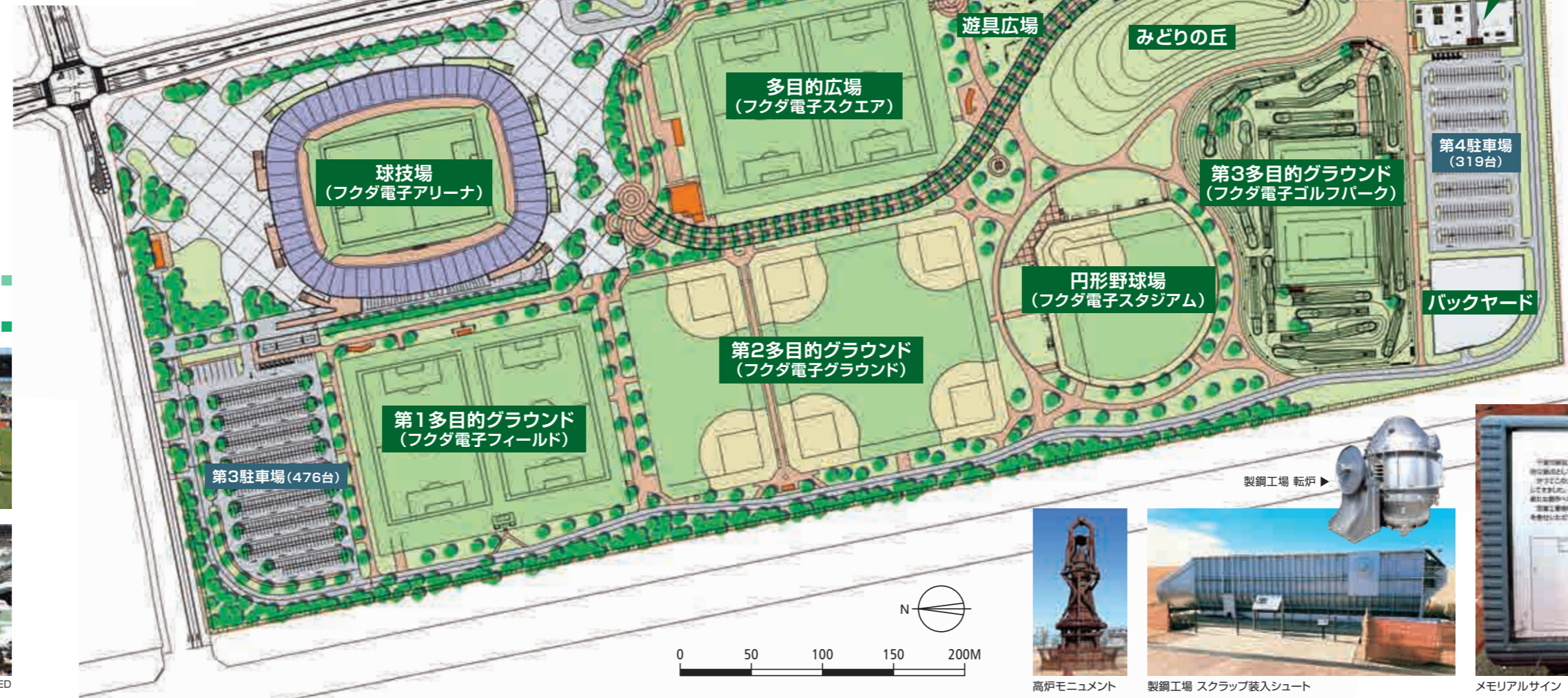
第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)



第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)



遊具広場



## 平時は公園を活用してイベントを開催

### JAPAN JAM

平成29(2017)年から、5月の大型連休に蘇我スポーツ公園を会場として大規模音楽フェスティバル、JAPAN JAMが開催されています。東京都心や千葉県内、JR蘇我駅からのアクセスの良さもあり「都心型フェス」として注目を集め、令和4年からはROCK IN JAPAN FESTIVALも開催されます。



写真3点：株式会社ロッキング・オン・ジャパン提供

### フクダ電子アリーナクリテリウム

蘇我スポーツ公園内に、ビギナーでも参加しやすい1周約3kmの完全平坦な特設コースを設定して、平成29(2017)年6月、平成30(2018)年7月、令和元(2019)年7月に「フクダ電子アリーナクリテリウム」(主催:千葉市自転車競技連盟)が開催されました。



### ちばぎんpresents ひまわりフェスティバル

毎年秋、球技場(フクダ電子アリーナ)でひまわりフェスティバルが開催されています。地元住民にピッチを開放しており、プロサッカー選手がプレーするアリーナの天然芝を体験することができます。(表紙右下写真)

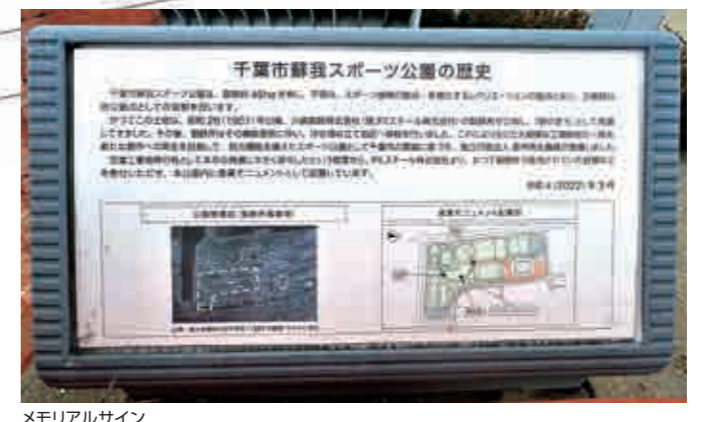
メモリアルサインは、本事業の完了にあわせて「千葉市蘇我スポーツ公園の歴史」の銘板として、また、産業モニュメントは、かつて製鉄所で使用されていた設備などを「高炉」「スクラップ装入シュート」「転炉」として設置されています。



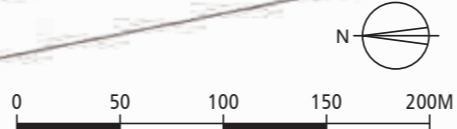
高炉モニュメント



製鋼工場 スクラップ装入シュート



メモリアルサイン





# 防災拠点としての活用

蘇我スポーツ公園は、千葉市地域防災計画において大規模災害発生時における千葉市の広域防災拠点として位置付けられており、救援、復旧、復興のための後方支援型活動拠点の役割を担います。陸・海・空からのアクセスが容易なことから、東京湾臨海部の広域的な防災ネットワーク拠点としても期待されています。

また、球技場(フクダ電子アリーナ)は、千葉市地域防災計画において津波避難ビルに指定されており、千葉市沿岸を含む東京湾内湾に津波警報、または大津波警報が発表された時から、警報解除までの期間、避難者の受け入れを行います。

**A 球技場(フクダ電子アリーナ)**

**防災機能** 現地対策本部  
物資の備蓄・集配・集積・荷捌きスペース  
受水槽・中水槽・防火水槽の整備  
災害対応トイレの整備  
救護・医療スペース  
ボランティア等の活動拠点  
関係車両の駐車場(スタンド下)  
(中水槽1基  
防火水槽4基  
災害対応トイレ1基  
津波警報発表時の避難者の受け入れ)

**C 第1駐車場**

**防災機能** 警察消防車両の駐車スペース  
(154台 駐車可能)

**B 多目的広場(フクダ電子スクエア)**

**防災機能** ヘリポート(中型・大型)

**D 第2駐車場**

**防災機能** 物資の一時集積  
(320台 駐車可能)

**E 庭球場(フクダ電子ヒルスコート)**

**防災機能** 地域住民1万人対応の避難場所  
災害対応トイレの整備(管理棟内)

**F 第3駐車場**

**防災機能** 広域消防隊の集結地  
(476台 駐車可能)

**G 第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)**

**防災機能** 物資の集配  
大型車の駐車スペース  
(850台 臨時駐車可能)

**H 第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)**

**防災機能** 警察待機・駐屯スペース  
消防待機・駐屯スペース

**J 円形野球場(フクダ電子スタジアム)**

**防災機能** 警察待機・駐屯スペース  
消防待機・駐屯スペース

**I みどりの丘**

**防災機能** 自衛隊の待機・駐屯スペース

**L 第4駐車場・スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)**

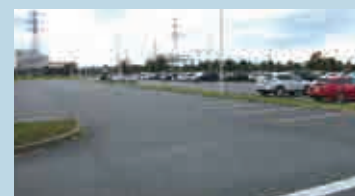
**防災機能** 自衛隊関連車両の駐車スペース  
(319台 駐車可能)

**K 第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)**

**防災機能** 自衛隊の待機・駐屯スペース

## 凡例: エリア別防災計画

- 本部エリア
- 救援活動エリア
- 避難エリア
- 駐車場エリア
- 物資集配・集積エリア
- 輸送拠点エリア



第2駐車場



災害用トイレ

引用元: 千葉市地域防災計画(令和3(2021)年8月修正)

## 第5回 緊急消防援助隊全国合同訓練

平成7(1995)年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等における被災地対応が都道府県内の消防力では困難な場合、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施できるように、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とした緊急消防援助隊が平成7(1995)年6月に創設されました。

5年に1度、全国の緊急消防援助隊が一同に会する全国消防援助隊合同訓練が実施されており、平成27(2015)年度の第5回訓練は蘇我スポーツ公園で開催。全国から2,300名以上の隊員が参加し、即応救助訓練、宿営訓練が行われました。



即応救助訓練



千葉市消防局撮影



宿営訓練



千葉市消防局撮影



千葉市消防局撮影